

子どものころ専門医研修施設群説明書

■ 研修施設群の名称		岐阜希望が丘子どものころ専門医研修施設群	
■ 研修統括責任者	氏名	栗林 英彦	
	所属	岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 児童精神科	
■ 担当者	氏名	栗林 英彦	
	所属	岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 児童精神科	
	住所	〒502-0931 岐阜県岐阜市則武1816-1	
	TEL	058-233-7121	
	FAX	058-233-7123	
	E-mail	c22315@pref.gifu.lg.jp	
■ 募集定員		6 名	
■ 募集・採用方法	書類の送付先	c22315@pref.gifu.lg.jp	
	応募方法	メールにて必要書類を送付	
	締め切り	随時募集	
	問い合わせ先	研修統括責任者 栗林英彦 c22315@pref.gifu.lg.jp	
	採用判定方法	応募書類および面接	

■ 研修施設群の特徴

当研修施設群は岐阜県内の以下の4施設で構成されています。基幹施設の岐阜県立希望が丘こども医療福祉センターは、児童精神科の外来診療を行う県内の中核的な施設で、発達障害の支援者向けの研修会、地域に出向いた療育支援、児童相談所との連携も行っています。

大湫病院は、地域で長年にわたり児童精神科診療に従事する指導医が在籍し、児童精神科診療のみならず地域連携についても経験できます。

Koharu terrace Clinicは精神科・児童精神科を標榜する診療所で、児童青年期症例から親の精神科診療まで幅広く経験できます。

岐阜県立多治見病院は、精神科病床、周産期母子医療センター、NICUセンターを有する総合病院で、児童青年期の入院症例や周産期における精神科診療を経験できます。岐阜県立多治見病院が基幹施設として、岐阜県立希望が丘こども医療福祉センターおよび水谷心療内科が連携施設として精神科専門医研修も行っています。

専門研修施設群

■ 施設群の構成および指導医数（指導医は当面、専門医で可とする）

種別	施設名	都道府県 コード(2桁)	医療機関 コード(7桁)	主な担当領域	常勤指導医数
基幹	岐阜県立希望が丘こども医療 福祉センター 児童精神科	21	0111982	1.総論 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12 2.分野別 1. 1) 2) 3) 4) 5) 3. 1) 3) 4) 5) 6) 7) 8)-a 8)-b 3. 1) 2) 3) 4)	2 名
連携A	大湫病院 精神科	21	1600298	1.総論 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12 2.分野別 1. 1) 2) 3) 3. 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8)-a 8)-b 3. 1) 2) 3) 4)	1 名
連携B	岐阜県立多治見病院 精神科	21	1101560	2.分野別 1. 3) 5) 2. 1) 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8)-a 8)-b 3. 1) 2) 4)	0 名
連携A	Koharu terrace Clinic 精神科	21	0112584	1.総論 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12 2.分野別 1. 1) 2) 3) 4) 3. 2) 3) 4) 5) 6) 7) 8)-a 8)-b 3. 1) 2) 3) 4)	1 名
					名
■ 施設群全体の常勤指導医数:					4 名

■ 症例数（重複は含まず、実数で記載してください）

症例の分類		過去1年間		過去3年間
B. 小児の心身医学領域に特有の問題				
B-1	機能的身体症状（不定愁訴）	116	例	例
B-2	心身症	81	例	例
B-3	周産期の母子保健	40	例	例
B-4	慢性疾患児の包括的ケア（思春期・生活習慣病を含む）	25	例	例
B-5	終末期のケア	2	例	例
C. 小児の精神及び行動の障害				
C-1	器質性精神障害 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	7	例	例
C-2	統合失調症	19	例	例
C-3	気分障害	101	例	例
C-4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	302	例	例
C-5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	37	例	例
C-6	人格及び行動の障害	17	例	例
C-7	知的障害（精神遅滞）、心理的発達の障害	1086	例	例
C-8a	小児＜児童＞期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害： 多動性障害、行為障害など	488	例	例
C-8b	小児＜児童＞期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害： 情緒障害、チック障害など	379	例	例
D. 多様な背景によって生じる問題				
D-1	不登校・ひきこもり	429	例	例
D-2	自傷・自殺	140	例	例
D-3	非行	19	例	例
D-4	児童虐待	73	例	例

■ 研修管理委員会（具体的な委員名を記載してください）

委員長：研修統括責任者
委員①：基幹施設・連携施設医師（各施設1名以上）
委員②：研修に関わる看護師・心理士・療法士・薬剤師・病院事務職など（2名以上）

	氏名	所属施設	職種	研修における役割
委員長	栗林 英彦	岐阜県立希望が丘こども医療福 祉センター 児童精神科	医師	研修統括責任者
委員①	関 正樹	大湫病院 精神科	医師	連携施設指導医
委員①	高岡 健	岐阜県立多治見病院 精 神科	医師	連携施設指導医
委員①	柳澤 尚実	岐阜県立希望が丘こども医療福 祉センター 児童精神科	医師	基幹施設指導医
委員①	井川 典克	岐阜県立希望が丘こども医療福 祉センター 児童精神科	医師	基幹施設指導医
委員①	中島 美千世	Koharu terrace Clinic 精神 科	医師	連携施設指導医
委員②	新堂 恵理	岐阜県立希望が丘こども医 療福祉センター	事務(心理)	基幹施設連携支援室長
委員②	鈴木 久雄	岐阜県立希望が丘こども医 療福祉センター	事務(心理)	基幹施設診療支援係係長

基幹施設

■ 施設名および科名		岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 児童精神科				
■ 分類		医療機関(精神科系)				
■ 施設形態		設立母体:		公立		
		臨床研修病院の指定:		なし		
		病院のタイプ:		その他の病院		
■ 院長(施設責任者)名		徳山 剛				
■ 研修統括責任者氏名		栗林 英彦		専門医番号	0529	
				指導医番号	0341	
■ 指導責任者氏名		栗林 英彦		専門医番号	0529	
				指導医番号	0341	
■ 在籍専門医		区分	氏名	専門医番号 指導医番号	所属科	勤務形態
		指導医	栗林 英彦	0529	児童精神科	常勤
				0341		
		指導医	高岡 健	0346	児童精神科	非常勤
				0154		
		指導医	柳澤 尚実	0629	児童精神科	常勤
				0303		
常勤 専門医	2 名	指導医	井川 典克	0354	児童精神科	非常勤
常勤 指導医	2 名					

■ 症例数(重複は含まず、実数で記載してください)

症例の分類		過去1年間	過去3年間
B. 小児の心身医学領域に特有の問題			
B-1	機能的身体症状(不定愁訴)	11 例	例
B-2	心身症	14 例	例
B-3	周産期の母子保健	13 例	例
B-4	慢性疾患児の包括的ケア(思春期・生活習慣病を含む)	20 例	例
B-5	終末期のケア	2 例	例
C. 小児の精神及び行動の障害			
C-1	器質性精神障害 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6 例	例
C-2	統合失調症	5 例	例
C-3	気分障害	3 例	例
C-4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	10 例	例
C-5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	17 例	例
C-6	人格及び行動の障害	7 例	例
C-7	知的障害(精神遅滞)、心理的発達障害	313 例	例
C-8a	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害: 多動性障害、行為障害など	119 例	例
C-8b	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害: 情緒障害、チック障害など	36 例	例
D. 多様な背景によって生じる問題			
D-1	不登校・ひきこもり	75 例	例
D-2	自傷・自殺	23 例	例
D-3	非行	6 例	例
D-4	児童虐待	33 例	例

■ 施設の特徴(主に取り扱う疾患など)

児童精神科診療においては、初診の見立て、子どもや家族に対する精神療法、長期経過の経験、地域連携が重要です。児童精神科では年間300件程の初診を受け入れており、指導医の初診外来の陪席やカンファレンスを通して丁寧に指導します。また長年児童精神科診療を行っている指導医が在籍しており、子どもの発達の長期経過や精神療法についても知見を深めることができます。発達精神医学研究所を併設し、発達障害児の診療にあたる医師・療育人材の育成および発達障害児に関する医学的な研究を行っています。発達障害の支援者との連携を大事にし、研修会や地域に出向いた療育支援を行っており、地域支援についても経験することができます。児童相談所とも密に連携しており、一時保護や社会的養護が必要な子どもの診療も経験することができます。

連携施設

☒ A(常勤の指導医が1名以上在籍) ☐ B(常勤の指導医が不在)

■ 施設名および科名		大湫病院 精神科				
■ 分類		医療機関(精神科系)				
■ 施設形態		設立母体:	私立			
		臨床研修病院の指定:	あり			
		病院(施設)のタイプ:	協力型臨床研修病院			
■ 院長(施設責任者)名		江口 研				
■ 指導責任者氏名		関 正樹	専門医番号	0212		
			指導医番号	0357		
■ 在籍専門医		区分	氏名	専門医番号 指導医番号	所属科	勤務形態
		指導医	関 正樹	0212 0357	精神科	常勤
常勤 専門医	1 名					
常勤 指導医	1 名					

■ 症例数(重複は含まず、実数で記載してください)

症例の分類		過去1年間	過去3年間
B. 小児の心身医学領域に特有の問題			
B-1	機能的身体症状(不定愁訴)	20 例	例
B-2	心身症	10 例	例
B-3	周産期の母子保健	0 例	例
B-4	慢性疾患児の包括的ケア(思春期・生活習慣病を含む)	0 例	例
B-5	終末期のケア	0 例	例
C. 小児の精神及び行動の障害			
C-1	器質性精神障害 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	0 例	例
C-2	統合失調症	1 例	例
C-3	気分障害	20 例	例
C-4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	72 例	例
C-5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	12 例	例
C-6	人格及び行動の障害	1 例	例
C-7	知的障害(精神遅滞)、心理的発達障害	639 例	例
C-8a	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害: 多動性障害、行為障害など	143 例	例
C-8b	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害: 情緒障害、チック障害など	66 例	例
D. 多様な背景によって生じる問題			
D-1	不登校・ひきこもり	70 例	例
D-2	自傷・自殺	32 例	例
D-3	非行	8 例	例
D-4	児童虐待	22 例	例

■ 施設の特徴(主に取り扱う疾患など)

東濃圏域における発達障がい専門外来を担っており、発達障害の診療は多い。
また、小児科との連携から不登校、心身症、自傷行為などでの受診も多い。
また、児童相談所や学校など関係機関との連携機会も多く、幅広く地域の子どものこころの専門医として地域における症例に出会うことが可能である。

連携施設

☐ A(常勤の指導医が1名以上在籍) ☒ B(常勤の指導医が不在)

■ 施設名および科名		岐阜県立多治見病院 精神科				
■ 分類		医療機関(精神科系)				
■ 施設形態		設立母体:	公立			
		臨床研修病院の指定:	あり			
		病院(施設)のタイプ:	基幹型臨床研修病院			
■ 院長(施設責任者)名		近藤 泰三				
■ 指導責任者氏名		高岡 健	専門医番号	0346		
			指導医番号	0154		
■ 在籍専門医		区分	氏名	専門医番号 指導医番号	所属科	勤務形態
		指導医	高岡 健	0346 0154	精神科	非常勤
常勤 専門医	0 名					
常勤 指導医	0 名					

■ 症例数(重複は含まず、実数で記載してください)

症例の分類		過去1年間	過去3年間
B. 小児の心身医学領域に特有の問題			
B-1	機能的身体症状(不定愁訴)	0 例	例
B-2	心身症	4 例	例
B-3	周産期の母子保健	0 例	例
B-4	慢性疾患児の包括的ケア(思春期・生活習慣病を含む)	0 例	例
B-5	終末期のケア	0 例	例
C. 小児の精神及び行動の障害			
C-1	器質性精神障害 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1 例	例
C-2	統合失調症	3 例	例
C-3	気分障害	15 例	例
C-4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	38 例	例
C-5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	5 例	例
C-6	人格及び行動の障害	0 例	例
C-7	知的障害(精神遅滞)、心理的発達障害	59 例	例
C-8a	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害: 多動性障害、行為障害など	6 例	例
C-8b	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害: 情緒障害、チック障害など	4 例	例
D. 多様な背景によって生じる問題			
D-1	不登校・ひきこもり	4 例	例
D-2	自傷・自殺	1 例	例
D-3	非行	0 例	例
D-4	児童虐待	1 例	例

■ 施設の特徴(主に取り扱う疾患など)

岐阜県立多治見病院は、岐阜県東濃地域の中核病院であり、病床数は539床(一般487床、精神33床、結核13床、感染症6床)、35の診療科を有し、総合病院精神科としての機能を果たしている。入院に関しては、精神疾患と身体疾患の合併した患者の治療を行う岐阜県東濃地域唯一の施設である。児童に関しても様々な疾患を対象としており、発達障害を中心に診療する児童精神科専門外来も開設している。

連携施設

☒ A(常勤の指導医が1名以上在籍) ☐ B(常勤の指導医が不在)

■ 施設名および科名		Koharu terrace Clinic 精神科				
■ 分類		医療機関(精神科系)				
■ 施設形態		設立母体:	私立			
		臨床研修病院の指定:	なし			
		病院(施設)のタイプ:	診療所			
■ 院長(施設責任者)名		中島 美千世				
■ 指導責任者氏名		中島 美千世	専門医番号	0526		
			指導医番号	0171		
■ 在籍専門医		区分	氏名	専門医番号 指導医番号	所属科	勤務形態
		指導医	中島 美千世	0526 0171	精神科	常勤
常勤 専門医	1 名					
常勤 指導医	1 名					

■ 症例数(重複は含まず、実数で記載してください)

症例の分類		過去1年間	過去3年間
B. 小児の心身医学領域に特有の問題			
B-1	機能的身体症状(不定愁訴)	85 例	例
B-2	心身症	53 例	例
B-3	周産期の母子保健	27 例	例
B-4	慢性疾患児の包括的ケア(思春期・生活習慣病を含む)	5 例	例
B-5	終末期のケア	0 例	例
C. 小児の精神及び行動の障害			
C-1	器質性精神障害 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	0 例	例
C-2	統合失調症	10 例	例
C-3	気分障害	63 例	例
C-4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	182 例	例
C-5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	3 例	例
C-6	人格及び行動の障害	9 例	例
C-7	知的障害(精神遅滞)、心理的発達障害	75 例	例
C-8a	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害: 多動性障害、行為障害など	220 例	例
C-8b	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害: 情緒障害、チック障害など	273 例	例
D. 多様な背景によって生じる問題			
D-1	不登校・ひきこもり	280 例	例
D-2	自傷・自殺	84 例	例
D-3	非行	5 例	例
D-4	児童虐待	17 例	例

■ 施設の特徴(主に取り扱う疾患など)

当院は、児童のみならず一般精神科も標榜している精神科医のクリニックです。児童から成人に至る方の多様な疾患でお困りの方が、教育関連機関、地元の公的機関、近隣医療機関等からのご紹介で来院されることに加え、気軽に御本人やご家族が直接来院され、ゲートキーパー的な位置づけを担っています。